

群馬大学医学部附属病院

# 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

## 画像・病理の診断レポートの見落とし防止 ～新システムを導入しました～

### <画像診断レポート見落とし防止のために>

CTなどの画像検査を受けた際に、目的とは違う部位に、偶然に写っていた癌などが見落とされる事例が続き、全国的な問題になっています。画像検査の結果は、担当医が確認するだけでなく、画像診断を専門とする医師（画像診断専門医）が読影し、報告書（レポート）を作成します。群大病院では、画像診断レポートの見落とし防止のために、次のような多段階の対策を行っています。

①検査当日は画像診断レポートが完成していないため、後日、あらためて担当医からご説明しています。②特に見落とされやすい、予想外の影などがあつた場合は、画像診断専門医がレポートに★マークを付けて目立つように工夫しています。③★のついたレポートを担当医がきちんと確認して、適切な説明や対応が行われたか、看護部、事務部、医療の質・安全管理部で協力してカルテを確認しています。④新しく、レポート確認漏れを防ぐ支援システムを導入し、活用しています。

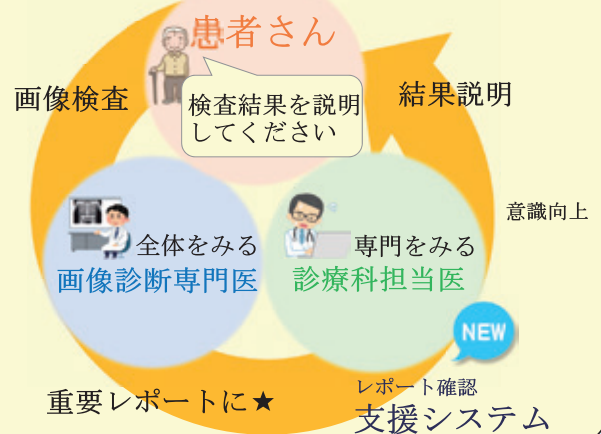
### <レポート確認支援システムの導入>

群大病院の使命の一つは、地域の医療を支える医師を育成することです。多くの医師が分担協力しながら働き、医師の異動も多いなかでも、情報が共有しやすく、見落としを防げるように、2019年12月にレポートの確認管理をたずける新しいシステム（FUJIFILM社CITA®）を導入しました。これにより、医師個人だけでなく、診療科ごと、病院全体で未読のレポートを「見える化」できるようになり、確認しやすくなりました。

病理診断についても同じシステムで診断レポート確認もれが生じないように対策を行っています。

また、特に注意が必要な★マークの付いた画像診断レポートは、検査を依頼した医師が電子カルテを開いた時にアラートが出て、気づきやすくなり、迅速な対応を促す仕組みも備えています。

### 画像診断レポートの見落とし防止



### <病院をあげての活用>

良いシステムがあっても、十分に活用されなければ意味がありません。新しいシステムの利用を促すため、ニュースを作成したり、毎月、各科の利用状況をフィードバックしたりすることで、現場のスタッフ一人一人の意識は高くなっています。診断レポートの結果をしっかりと患者さんの診療に生かし、見落としによる医療事故を防止するために、病院をあげて取り組んでいます。

## も く じ

- 画像・病理の診断レポートの見落とし防止  
～新システムを導入しました～ …… 1 ページ
- 新型コロナウイルス感染症予防について …… 2 ページ
- 病院長からの御礼 …… 2 ページ
- 相談窓口と地域連携のお知らせ 患者支援センターについて …… 3 ページ
- 新規医療技術の紹介 産婦人科でロボット支援下手術を始めました …… 3 ページ
- 「誓いの碑」除幕式を執り行いました …… 4 ページ
- 病院探検！「栄養管理部」 …… 4 ページ

# 新型コロナウイルス感染症予防について

## 1、感染予防対策 ～私たち一人一人の理解と行動が重要です！～

中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は急激な勢いで世界に広がりました。国内でも感染者数は日々増加し、感染蔓延期の真ただ中に差し掛かろうとしています。COVID-19の感染力の特徴は、潜伏期間中の無症候の感染者であっても他者に感染させてしまう可能性がある点です。そのため、何の症状も無い人がいつのまにか周囲の人に感染させてしまう可能性があり、感染拡大の要因のひとつになっていると思われます。その為私たちは気を許さずことなく新しいスタイルでの生活を続けていかなければなりません。



### 1) 日頃からの咳エチケット

咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることをお願いします。

### 2) マスクの着用が重要です。

会話・発声による感染伝播に注意する必要があります。排出される唾液による小さな飛沫を抑えるためにはマスクの着用が有効です。しかし、夏はマスクによる熱中症の可能性があるので注意しなければなりません。人と対面で接する場合にはマスク使用を原則とし、感染のリスクの低い場所ではマスクを外すことも可能です。



### 3) 必要なタイミングでの手洗いを行いましょう。

不特定多数の人が使用するものに触った時、公共の場所から帰った時、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、食事をする前は手洗いを忘れずをお願いします。



### 4) 3密を避けましょう。

密集、密接、密閉のそれぞれがCOVID-19の感染リスクとなり、それが重なることによりさらにリスクが高まります。

## 2、当院からのお願いと感染対策

### 1) 来院時のお願い

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・病院出入口には手指衛生剤を設置しております。病院へ入る時、お帰りになる時には必ず手の消毒をお願いします。

### 2) 3密回避の取り組み

日頃より混雑しておりまして大変申し訳ございませんが、3密を防ぐ観点よりお会計等でお並びになる時には、ソーシャルディスタンスを保つようお願いしたいと思います。

### 3) 院内環境清掃について

待合のイス、不特定多数の方が触れるエレベーターのボタン、エスカレーターの手すり、書類を入れるファイル、車いす等は毎日清掃を行っております。

### 4) 面会制限について

院内の患者さんの安全な療養環境を確保するために面会制限を行っています。ご家族のみ面会可能です。



新型コロナウイルス対策の為**面会制限**としています  
院内における感染防止のため、当面の間患者さんへの面会を、ご家族のみ許可しています。  
ご理解とご協力のほど何卒よろしく願いいたします。



2020年6月作成  
医学部附属病院長

## マスクなどの医療資材のご寄附と激励のメッセージをありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症患者の発生が続く中、複数の企業・団体、個人のみなさまから、当院に対しマスク、フェイスシールド、ガウンなどの医療資材のご寄附や激励のメッセージをいただきました。

当院に対するご配慮をいただいておりますことに、心から御礼申し上げます。

依然として出口の見えない状況が続いておりスタッフにとって、みなさまからの温かいご支援、ご声援が励みになっています。これからも教職員が一丸となって、安全・安心な医療を提供できるよう、努めてまいります。

病院長

## 相談窓口と地域連携のお知らせ

### 患者支援センターについて



村上センター長とスタッフ  
(写真：上毛新聞社様提供)

患者支援センターには、医師、看護師、保健師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、事務職員を合わせて総勢45名のスタッフがおります。患者さんの入退院、退院調整や在宅療養の支援、がんや難病の相談、医療福祉相談、地域の診療所や病院からの患者さんの紹介をはじめとする地域連携など、患者さんに安心して治療を受けていただくための様々な取り組みを行っています。

相談窓口では、社会福祉・社会保障制度についての相談、病気による心

理的問題や悩みの相談、在宅医療や介護・施設の相談、医療費や経済的な問題の相談、療養中の就労の問題の相談、がんや難病に関する相談、医療の内容についての相談などを受け付けていますので、お気軽にご利用ください。

群大病院には地域連携施設登録をしている病院や診療所が500以上あります。症状の落ち着いた患者さんを地域の病院や診療所のかかりつけの先生に紹介して経過をみていただき、専門的な検査や治療が必要になった場合にかかりつけの先生から群大病院に紹介していただく取り組みを行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。



## 新規医療技術の紹介

### 産科婦人科でロボット支援下手術を始めました

産科婦人科では子宮に発生する様々な腫瘍の治療を行なっています。子宮を摘出する際、近年ロボット支援手術が行われるようになり、全国的に普及が進んでいます。当科でも昨年10月にダヴィンチによるロボット支援下の子宮全摘術を導入いたしました。この手術ではお腹にあけた数カ所の小さな孔から手術を行うため、傷が小さく出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者さんの負担が軽減されます。現在は子宮の前癌病変や良性疾患を対象としていますが、今後は子宮体がんを対象とするよう準備を進めています。手術チームが丸一となり少しく



医師がロボットを遠隔操作します



手術ロボットでカメラと鉗子进行操作します

も多くの患者さんに侵襲の少ない治療を安全に提供できるよう、努めていきたいと思っております。

## 「誓いの碑」除幕式を執り行いました

6月18日（木）に病院敷地内の噴水広場において、ご遺族や病院職員ら約150人が出席して、「誓いの碑」の除幕式を行いました。

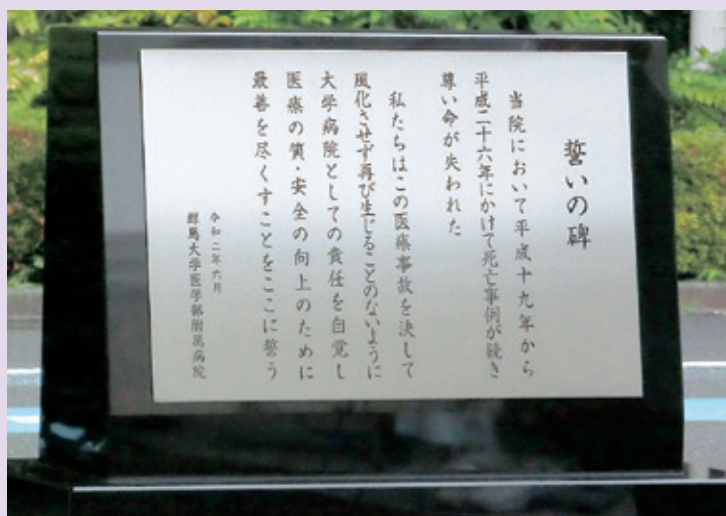
病院長は挨拶で「医療安全に一生懸命取り組み、一定の成果を挙げてきたと思っているが、一番大事なことは事故を忘れずに教訓を胸に刻み継承していくこと。誓いの碑を設置して誓いを新たに続けることで記憶が薄れることはない」と述べていました。



除幕が病院長、看護部長、ご遺族の代表2名の方で行われ、「誓いの碑」が披露され、続けてご遺族の代表の方から「群馬大学医学部附属病院、全国の病院の医療安全が進んで、より良きものになっていくことを願っています。患者や遺族から感謝される医療を目指していただきたい。」とご挨拶を頂きました。

その後参加者全員での黙とうと献花を行い除幕式は終了しました。

「誓いの碑」は幅2メートル、高さ1.2メートルで、噴水側に碑文が書かれたプレートが付けられ、車道側には誓いの碑と文字が刻まれています。また、「誓いの碑」に付けられたプレートと同じものを外来棟及び臨床講堂に掲げました。



## 病院探検！「栄養管理部」

### 『食事や栄養のとり方はお任せください!!!』

入院中の献立を考え、お一人お一人にあった食事を提供しています。外来通院や入院の際に、家庭での献立や栄養の取り方などを専門の管理栄養士が栄養指導・食事相談を行っています。さらに低栄養の方、人工透析のリスクのある方、褥瘡のある方、嚥下障害の方などに対しては、必要に応じ、医師などと協働して高度な専門チームの一員として患者さん皆様に寄り添った食事療法を模索しています。



栄養管理部の皆で患者様の栄養を考えています!!

群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第9号 2020年9月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2020年9月10日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

### 病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

### 基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。